

■山鹿市立米野岳中学校■

1 PLAN (新体カテスト結果及び児童生徒の実態から見える課題と目標)

(1) 生徒の実態

令和元年度の結果を見てみると、1年生においてはほとんどの種目での平均値を下回っている状況（男子は8種目中7種目・女子は8種目中4種目）だった。

令和2年度は10月～11月に実施したこともあり、ほとんどの種目で向上がみられたが、全体的に筋力に課題がみられた。

(2) 取組みの方向性

中学校では部活動等で運動やスポーツに接する時間や頻度が大きく異なり、種目の特性も体力に大きく影響してくる。そのため、保健体育科の授業が体力向上の鍵と考え、『保健体育科の授業の充実を中核とした豊かなスポーツライフの基盤づくり』を目標に掲げた。

学年	1年生		2年生		3年生	
	男	女	男	女	男	女
握力	▼	◎	▼	▼	—	▼
上体おこし	▼	▼	◎	▼	▼	▼
長座体前屈	▼	◎	▼	◎	◎	◎
反復横跳び	—	▼	◎	▼	▼	▼
持久走*	▼	▼	▼	▼	—	▼
50m走	▼	◎	▼	◎	◎	▼
立ち幅跳び	▼	▼	◎	▼	◎	▼
ボール投げ	▼	◎	◎	◎	◎	◎
◎の数	0	4	4	3	4	2
▼の数	7	4	4	5	2	6

2 DO (目標達成に向けた実践)

(1) 指導と評価の一体化

ア 生徒の実態把握

生徒たちの集団にはいろいろな特性がある。また、生徒たちは学習活動の中でいろいろな成長を見せる。そのため教師は生徒の実態を確実に把握し、見極め、身につけさせたい力を考えた上で、学習活動を計画していくようにする。

イ 単元のスタート時に評価基準を必ず示す

生徒に評価基準を明確に示し、単元の中に指導と評価を位置づける。

(2) ICT機器の「使用」から「活用」へのシフトチェンジ

ア 「つまずきムービー」と「モデルムービー」を見せる

授業で生徒たちが課題を把握し改善と解決にICT機器を活用できるようにするとともに、ポイントを示す動画をセットで各単元で導入している。

つまずきムービー

…技能獲得における「つまずき」を3つのポイントに絞り実演したムービー

モデルムービー

…「つまずきムービー」で表現した課題が解決できている状態のムービー

イ ビフォーアフタービデオの制作

「過去の自分」と「現在の自分」を比較し、自分の伸びを実感できるようにする。

(3) 仲間と喜びを共有する

ア 生徒相互のモニタリングを優先する

生徒たちが実際に体を動かし、なかま同士のモニタリング機能を最大限に活用し、課題解決をする過程が授業の中心にある学習を展開していく。

イ ST学習の導入

ST (スモールティーチャー) 学習を積極的に導入し、なかまと喜びを共有できる場を意図的に生み出すことで、主体的で対話的な学びの活性化を図る。

3 CHECK(令和3年度新体力テスト結果による取組の評価)

(1) 指導と評価の一体化

ア 生徒の実態把握

生徒の実態を把握しておくことで、単元の途中でも集団の成長に合わせて柔軟に学習内容を変化させることができた。また、学習者の実態に応じた学習活動を行うことが、結果的に運動量の確保にもつながった。

イ 単元のスタート時に評価基準を必ず示す

評価基準を示すことで、教師と生徒がともにゴールの姿をイメージでき、これをめざした学習ができた。



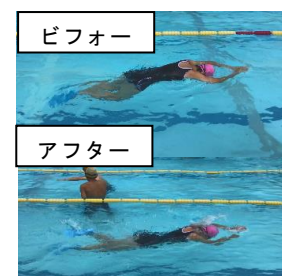
評価基準（水泳：クロール）

(2) ICT機器の「使用」から「活用」へのシフトチェンジ

ア 「つまずきムービー」と「モデルムービー」を見せる生徒たちは、自ら思考・判断し、学びを他の技に転用することで学びの「転移」が生まれた。

イ ビフォーアフタービデオの制作

ビデオを制作する過程で、自分を振り返り、変化と伸びを実感することができ、更なる意欲の喚起につながった。また、変化をお互いに共有することで「伸びる集団」へ成長した。



(3) 仲間と喜びを共有する

ア 生徒相互のモニタリングを優先する

互いにモニタリングする中で、習得した知識を活用したり発見や気づきを伝え合ったりすることができ、人間関係調整能力が育まれ、集団としての高まりが見られた。

イ ST学習の導入

ST学習は技能の習得だけでなく、「教え合う人」として、生徒の可能性を引き出すことにもつながった。

ムービーを視聴し合う様子



(4) 令和3年度の新体力テスト結果

3年生においては、2年間での著しい成長がわかる。ほとんどの種目で県平均を上回っており、保健体育の授業も活気に溢れている。それが、相乗効果として2年生の結果にも表れている。

ただし、1年生に関しては、持久力に課題がある。小学校の統廃合により、通学方法が変化した影響が大きいと考える。小学校はバス通学を行っており、中学生になっても保護者の送迎で通学する生徒が多々見られる。こうしたことの影響から、入学時の体力面の落ち込みは否めない。

学年	1年生		2年生		3年生	
性別	男	女	男	女	男	女
握力	◎	◎	◎	◎	—	◎
上体おこし	▼	◎	◎	◎	▼	◎
長座体前屈	◎	◎	◎	◎	◎	◎
反復横跳び	—	◎	◎	◎	▼	◎
持久走*	▼	▼	◎	◎	—	◎
50m走	—	◎	◎	◎	◎	◎
立ち幅跳び	▼	◎	◎	◎	◎	◎
ボール投げ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎の数	3	7	8	8	4	8
▼の数	3	1	0	0	2	0

4 ACTION(令和4年度の計画)

(1) 豊かなスポーツライフの基盤づくりをめざす取組

ア 生活習慣の改善にスポットを当てた取組

イ 体づくりの基盤となる食育との関連を図った取組

これらに着目した取組を強化することで、更なる体力の向上をめざす。